

東アジア学会活動記録

【2003年】

◆ 第34回定例研究会

日時：2003年5月10日（土）午後2時30分～午後4時30分※会員総会と同日開催

場所：西南学院大学 II号館7階 中会議室

講演：「米国の朝鮮半島政策」

講師：菅 英輝（九州大学大学院比較文化社会研究院教授）

◆ 第35回定例研究会

日時：2003年6月28日（土）午後2時～午後4時30分

場所：西南学院大学 II号館7階 中会議室

講演：「米・朝関係と日・中・韓」

講師：ヤン・C・キム（ジョージワシントン大学名誉教授）

コーディネーター：小川 雄平（西南学院大学商学部教授）

◆ 第1回「ビジョンと連帯21」との交流・討論会

日時：2003年7月26日（土）午後2時～5時45分

場所：西南学院大学 学術研究所1階 大会議室

歓迎挨拶：北原 守（東アジア学会理事・福岡県議会議員）

交流・討論会

座長：櫻井 浩（久留米大学経済学部教授）・金 英哲（グローバル・ネット代表）

基調報告：「日韓相互理解の深化のために」

1. 金 泰萬（韓国海洋大学東アジア学科教授）

2. 小川 雄平（西南学院大学商学部教授）

討論Ⅰ：「北朝鮮をどう見るか」

問題提起：李 南柱（朝鮮問題研究所所長）

討論Ⅱ：「歴史認識の共通化は可能か」

問題提起：奥山 忠政（「沙也可」交流会副代表）

全体討論

◆ 第13回大会

日時：2003年9月27日（土）午後1時～5時

28日（日）午前10時～午後4時30分

場所：西南学院大学 II号館 8階大会議室／7階中会議室

シンポジウム「朝鮮戦争の今日的意味を考えるー停戦50周年を迎えて」

基調報告：朴 明林（延世大学校国際学大学院教授）

パネリスト：櫻井 浩（久留米大学経済学部客員教授）

森 善宣（佐賀大学文化教育学部助教授）

朴 明林（延世大学校国際学大学院教授）

コーディネーター：菅 英輝（九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

自由論題研究報告会

研究報告①「ハイアールのブランド戦略」

呉 曉東（西南学院大学大学院経営学研究科博士課程後期）

②「東アジア通貨圏の構想」

工藤 憲男（西日本経済研究所代表）

共通論題研究報告会「アジアのイスラム」

研究報告①「近代日本とイスラムの出会い：日本と西アジアの初期の関係に関する研究」

マイケル・ペン（北九州市立大学法学部外国人教師）

②「インドネシアにおけるイスラムと大衆文化

ーダンドゥット歌手イヌルをめぐって起きたことー」

佐々木拓雄（九州大学大学院比較社会文化研究科博士課程）

③「日本のイスラムとアジアのイスラム（日本における対イスラム政策の課題）」

古賀 幸久（久留米大学法学部助教授）

◆ 書籍の編集・出版事業

書名：『日韓の架け橋となった人びと』（ISBN4-7503-1796-9）

編者：東アジア学会

内容：歴史教科書の副読本として編集・出版

序文：編集委員会（代表：小川雄平（西南学院大学商学部教授））

第1章 李参平：兪 華濬（玄海人クラブ代表）

第2章 雨森芳洲：嶋村初吉（西日本新聞社編集企画委員会編集委員）

第3章 安重根：黒木彬文（福岡国際大学国際コミュニケーション学部教授）

第4章 楊宗悦：安達義弘（福岡国際大学国際コミュニケーション学部教授）

第5章 尹東柱：奥山忠政（「沙也可」交流会副代表）

第6章 田内千鶴子：奥山忠政（「沙也可」交流会副代表）

出版社：明石書店

出版日：2003年10月20日

頁数：180頁

定価：1600円